

平成27年度

事業報告書

社会福祉法人

伊那市社会福祉協議会

平成27年度

伊那市社会福祉協議会主要事業報告

伊那市社会福祉協議会では、「ふれあい、支えあい、助け合う、お互い様の地域づくり」を重点目標に、各種福祉サービス事業の実施、地域福祉活動の充実・推進に取り組んで参りました。

事業の概要

1 地域福祉推進事業等

地域における住民参加の福祉活動推進を図るため、地区社協及び地域社協の活動を支援すると共に、引き続き、未組織地域の地域社協設置に努めました。積極的な広報や活動開催支援に取り組んだところ、1,315件の地域福祉活動が行われ、48件の増加となりました。また、新たに小原地域社会福祉協議会が設立しました。

新規事業として、少人数で気軽に集まることのできる「まちの縁側づくり」事業の取り組みを進めると共に、買い物弱者に対するアンケート調査を行い、支援ネットワーク会議を立ち上げました。

また、独居高齢者や障害者の入居や入院等に際しての、保証人問題に関するアンケート調査を行いました。

さらに、伊那市から生活困窮者自立支援事業を受託し、生活保護に至る前の低所得者や、複合化した課題を抱える生活困窮者の生活や就労の相談及び、生活再建のための伴走的支援を行いました（H26年度はモデル事業）。生活福祉資金貸付事業やふれあい相談センターと連携をとりながら一体的な運営を行うとともに、民生児童委員等に協力を依頼して、アンケートによる引きこもりや生活困窮者の実態把握に取り組みました。

2 介護保険事業等

介護保険事業は、制度改正及び介護報酬改定の影響、並びに、近隣地域内における民間事業者の参入の進行及び特別養護老人ホーム等の長期入所系事業所の新設及び増床の影響等により、経営状況は前回報酬改定のあった平成24年度以降、引き続き厳しい経営状況が続いています。

平成27年度に実施された報酬改定により、各サービス事業とも基本報酬が大幅に削減され、平成27年度は当初予算において本会始まって以来の赤字予算を組まざるを得ない状況となったわけですが、決算の結果では、予想を上回る利用者の減少及び収入の減少により、大幅な赤字を計上する結果となりました。

介護保険事業全体で、収入額は前年度比12.2%減の376,431,110円、支出額は前年度比9.8%減の409,776,445円となり、収支差額は33,345,335円の大幅な赤字とな

りました。収支差額の前年度対比は、金額で7,947,248円の減の結果となりました。

利用者の減少傾向の中、延べ利用者数でみると通所介護事業は全体で3.3%の減少に留めましたが、同じく短期入所生活介護事業は14.0%の減となりました。

また、訪問介護事業は延べ訪問回数で20.2%の減、殊に訪問介護センター伊那にあっては23.7%の大幅な減となりました。

いずれの事業部門においても、近隣での長期入所系事業所の新設及び増床が多くあった影響等により介護度の高い利用者の減少が著しく、介護報酬マイナス改定の影響と併せて収入の大幅な減少という結果となりました。

これに対し、各事業部門とも人件費をはじめ諸経費の削減に取組み、特に通所介護事業及び短期入所生活介護事業では、使用するデイサービスセンターの施設利用負担金の免除を伊那市に申し出、総額13,808,687円の免除が実現しましたが、これらデイサービス関係事業の収支赤字額は30,136,554円となり、介護保険事業全体の赤字額の90.4%を占める結果でありました。

平成27年度の制度改正により進められ、伊那市では平成29年度から具体化する地域包括ケア構築の動きの中で、市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるための支援を推進するため、介護従事者の専門性や資質の向上により一層取り組み、利用者のニーズに沿った質の高いサービス提供に努めなければなりません。

また一方において、今後の経営改善は容易ではないと言わざるを得ず、介護保険事業に係る経営方針の抜本的な見直しを早急に行う時期となっています。

3 障害者就労支援事業等

障害者総合支援法に基づく就労継続支援等の事業の経営は、新たな利用者の受入れ及び現利用者が安定して通所利用できるための支援の充実を進めた結果、各事業所の経営状況は引き続き概ね安定し、福祉事業活動による収支では就労支援事業全体で、収入額は前年度比8.3%増の216,465,488円となったものの、支出額は前年度比10.1%増の177,950,141円となり、収支差額は38,515,347円の黒字で、前年度比では1.2%、473,687円の微減の結果となりました。支出額の増の要因は、自立支援総務に係る業務担当職員の増や各事業所の人員体制強化による人件費の増等が主なものです。

施設外就労等の場の確保を進め、地元企業とのコラボレーションによる製品づくりや製品開発プロジェクトチームによる魅力ある自主製品の開発や販路拡大を目指したインターネット販売を開始しました。

また共同受注・共同作業、外注商品の販売等にも積極的に取組み、利用者一人あたりの工賃については、3事業所の平均では前年度と比べ4.1%増の11,753円の結果でした。

平成27年度 事業報告

1 社協の組織基盤の強化のために

(1) 社協組織の運営

法人組織の円滑な運営を推進するために、理事会・評議員会を開催しました。

また、監事の指導及び監査により執行の適正を期しました。

① 理事会

	開催年月日	出席者数	主要議案
1	平成27年5月28日	11	議 事 1 平成26年度伊那市社会福祉協議会一般会計事業報告及び決算について 2 平成26年度伊那市社会福祉協議会障害者就労支援事業会計事業報告及び決算について その他 ・伊那市デイサービスセンター等に係る施設利用負担金について ・第10回伊那市社会福祉大会の参加について (伊那市共同募金委員会運営委員会開催) ・平成26年度事業報告及び決算について ・平成27年度事業計画及び予算について ・審査委員の選任について
2	平成27年6月22日	9	議 事 1 第10回伊那市社会福祉大会における被表彰者について その他 ・平成27年度以降の本会事業の方向性・課題等について ・介護保険事業における利用料の欠損処理について (伊那市共同募金委員会運営委員会開催) ・平成27年度共同募金配分計画について
3	平成27年10月23日	15	報告事項 ・上半期の収支状況及び決算見込みについて 協議事項 ・デイサービスセンター等における事業実施に係る課題等について ・資金運用規程(案)について その他 ・マイナンバー制度への対応について ・社会福祉法改正案の概要について ・平成28年度職員採用試験の選考状況について 他

4	平成 28 年 3 月 23 日	12	議 事 1 平成 28 年度伊那市社会福祉協議会事業計画及び予算について 2 福祉サービス苦情解決委員会等委員の委嘱について その他 ・平成 27 年度介護保険事業・障害者就労支援事業収支決算見込みについて ・社会福祉法改正に伴う役員、評議員の任期の取扱いについて
---	------------------	----	---

②評議員会

	開催年月日	出席者数	議決事項
1	平成 27 年 5 月 29 日	20	議 事 1 平成 26 年度伊那市社会福祉協議会一般会計事業報告及び決算について 2 平成 26 年度伊那市社会福祉協議会障害者就労支援事業会計事業報告及び決算について その他 ・第 10 回伊那市社会福祉大会の参加について
2	平成 28 年 3 月 24 日	25	議 事 1 平成 28 年度伊那市社会福祉協議会事業報告及び予算について 2 理事の選任について その他 ・平成 27 年度介護保険事業・障害者就労支援事業収支決算見込みについて ・社会福祉法改正に伴う役員、評議員の任期の取扱いについて

③監査会

	実施年月日
決算監査	平成 27 年 5 月 19 日
共同募金監査	平成 27 年 5 月 19 日
中間監査	平成 27 年 12 月 14 日

④正副会長会

	開催年月日	主要事項
1	平成 27 年 5 月 26 日	1 事業報告及び決算について 2 当面の日程について
2	平成 27 年 10 月 23 日	1 上半期の収支状況及び決算見込みについて 2 資金運用規程（案）について
3	平成 28 年 3 月 16 日	1 平成 28 年度事業計画及び予算について 2 平成 27 年度収支決算見込みについて

(2) 社協会費の募集・還元

① 会費の募集

社会福祉協議会は住民参加による地域福祉推進を目指して、各種事業を行う公益法人であり、その活動は会員である住民の皆さんによって支えられています。

社協会費は、地区社協、地域社協の活動を推進する上で大切な財源の一つですが、近年会費収入は減収傾向にあります。地域への還元実態等、会費の使い道について、引き続き住民への働きかけが課題です。

会費総額：11,410,585 円（前年比 98.8%）

<平成 27 年度の会費納入実績>

（金額単位：円）

地区	一般会費		賛助会費		法人会費		納入合計金額	世帯納入率
	戸数	金額	口数	金額	口数	金額		
伊那	4,378	2,619,559	37	37,450	3	9,000	2,666,009	76.2%
山寺	782	470,200	14	14,000	3	9,000	493,200	73.5%
荒井	919	550,550	8	8,000	0	0	558,550	73.4%
西町	940	561,810	14	14,000	0	0	575,810	79.6%
中央	585	347,974	19	19,100	0	0	367,074	85.7%
富県	892	535,200	0	0	0	0	535,200	92.0%
美簗	1,754	1,052,400	0	0	0	0	1,052,400	85.1%
手良	610	366,000	0	0	0	0	366,000	91.0%
東春近	1,537	922,200	0	0	0	0	922,200	92.6%
西箕輪	1,513	907,800	0	0	0	0	907,800	88.5%
西春近	1,613	967,800	0	0	0	0	967,800	87.2%
高遠町	1,883	1,129,050	19	19,000	0	0	1,148,050	89.3%
長谷	483	289,600	26	28,000	0	0	317,600	70.7%
その他					153	532,892	532,892	
合計	17,889	10,720,143	137	139,550	159	550,892	11,410,585	82.7%
前年比	98.6%	99.0%	91.3%	92.4%	100.6%	97.3%	98.8%	97.4%
平成 26 年度	18,136	10,826,847	150	151,000	158	566,000	11,543,847	84.9%
平成 25 年度	18,098	10,834,954	160	160,000	181	621,000	11,615,954	84.8%

② 会費の還元

住民参加による地域福祉推進のため、各区等を単位として地区・地域社協を組織し、活動を行っています。会費の約 6 割は、地区・地域社協の財源として、また、残りの約 4 割は地域社協等で行っている、地域福祉推進事業の補助金として交付しました。

<平成 27 年度の会費還元実績>

(金額単位:円)

会費の種類	金 額	還 元 額		地域福祉推進 事業補助金
		地区社協	地域社協	
一般会費(世帯)	600	200	200	200
賛助会費(個人)	1,000	300	500	200
特別会費(法人)	3,000	1,000	1,500	500
還元額 合計		3,621,245	3,402,055	4,387,285
		11,410,585		

<地区・地域社協内訳>

(金額単位:円)

地区名	地区社協還元	地域社協還元
伊那	887,421	881,310
山寺	163,933	168,233
荒井	185,917	187,516
西町	191,470	194,271
中央区	121,721	125,542
富県	178,400	178,400
美簗	350,800	350,800
手良	122,000	122,000
東春近	307,400	307,400
西箕輪	302,600	296,000
西春近	322,600	322,600
高遠	382,050	181,050
長谷	104,933	86,933
合計	3,621,245	3,402,055

(3)その他法人運営

①財務、人事管理等組織関係全般の業務

- ・ 職員の労務管理
- ・ 給与規程の改正

②経営分析と財政基盤の整備検討

- ・ 社協会計経理全般と経営分析

③職員の健康保持、増進等健康管理

産業医...神山内科医院・職員衛生委員会の開催 12 回

(4) 役職員研修等

① 伊那市社協内職員研修

- ・ 正規職員研修会「決算について、今後の事業の方向性・課題について」
講師 三井事務局長、小池事務局次長、矢澤係長
7月7日（火） 49人出席
- ・ 職員交通安全講習会
～交通事故ゼロをめざして～
講師 五十嵐 三郎氏（伊那警察署交通課）
7月22日（水）、7月28日（火） 205人出席
- ・ 福祉まちづくりセンター避難訓練 9月17日（木）、3月10日（木）
- ・ 上伊那ブロック社会福祉協議会職員研修
「正しく体を使う ラジオ体操」
講師 有賀 暁子氏（全国ラジオ体操連盟指導委員、体操インストラクター）
10月30日（金） 38人出席
- ・ メンタルヘルス研修会
「笑って健康 笑いヨガ」
講師 森 貴代美氏（笑いヨガリーダー）
1月22日（金）、1月29日（金） 101名出席
- ・ 正規職員研修会
講師 須永 久恵氏（桜美林大学健康心理福祉研究所研究員・専門健康心理士）
演題 「中堅職員キャリアパス研修、キャリアとして育つこと」
対象 38～49歳までの正規職員 3月13日（日）9時～12時 18人出席
演題 「管理職の役割とマネジメント」
対象 所属長、主任、50歳代の正規職員 3月13日（日）13時～15時 27人出席

2 お互い様の地域づくりを進めるために

(1) 地域福祉推進事業

地域における住民参加の福祉活動推進を図るため、地区・地域社協の活動支援及び未組織地域の地域社協の設置に努めた結果、新たに小原地域社会福祉協議会が設立しました。

① 地区・地域社協の充実強化、地区福祉活動の振興支援

- ・ 地区、地域社協等への相談支援対応を強化し、昨年度より約16%増加しました。

地区相談対応件数

	総件数	うち訪問	うち来所	うち電話
H27	575	222	225	128
H26	495	151	180	164
H25	386	148	126	112

②地域社協の組織化の推進（高遠町、長谷地区）

- ・地域社協設立説明会開催 5回

住みよい地域づくり担当者説明会（6/24）、小原説明会（10/7・10/21）、長藤説明会（2/17・3/17）

- ・新規設立

小原地域社会福祉協議会 設立（12/5）

（全体 117 地区：伊那地区 100 社協、高遠町地区 12 社協、長谷地区 5 社協）

③地域福祉活動の推進

- ・地域福祉推進事業の拡大

平成 26 年度にモデル事業として実施した「あったかご近所ネット」及び「あそび場発掘プロジェクト」を事業化し、地域福祉活動補助金の支出事業に追加しました。

- ・新規事業の立ち上げ

新規事業として、少人数で気軽に集まることのできる「まちの縁側づくり」事業の取り組みを進めると共に、買い物弱者に対するアンケート調査を行い、支援ネットワーク会議を開催しました。

また、独居高齢者や障害者の入居や入院等の際しての、保証人問題に関するアンケート調査を行いました。

- ・地域福祉活動取組み支援

積極的な広報や活動開催支援に取り組んだところ、1,315 件の地域福祉活動が行われ、48 件の増加となりました。

項目・内容	補助実績件数（件）		
	平成25年度	平成26年度	平成27年度
にじいろサロン（世代間交流事業）	37	38	37
すくすくサロン（茶話会）	18	10	12
すくすくサロン（会食会）	33	28	23
いきいきサロン（食事なし）	488	530	534
いきいきサロン（食事あり）	567	578	623
福祉懇談会・講習会・講座	96	34	25
災害時支え合いマップ作成、更新	11	10	15
広報紙の発行	25	26	32
特認事業	13	13	10
あったかご近所ネット			3（地区）
あそび場発掘プロジェクト			1（地区）
合 計	1,288	1,267	1,315

④伊那市社会福祉大会（合併 10 周年記念大会）の開催

7/18（土）県伊那文化会館 約 1,300 人参加

講演会「チャレンジ精神を忘れずに」

講 師 乙武 洋匡 氏

生まれつき重度の障害を持っている当事者の視点から講演がありました。

障害者を取り巻く環境は変化してきており、障害者権利条約の批准や、障害者差別解消法の施行により、今後さらに、障害に対する理解を一層深める必要があると感じました。

⑤地区・地域社協役員研修会開催

新しく地域社協の役員になった方に対して、これからの地域づくりやご近所の助け合いについて意識を深めてもらい、身近な地域での地域福祉活動について、地区・地域社会福祉協議会役員の皆さんに理解していただくことを目的として開催しました。

2/2（火）伊那市役所 1F 多目的ホール 150 人参加

- ・地域福祉推進事業説明
- ・地域の助け合い事業取り組み報告（笠原、与地社協）
- ・講演会「今、なぜ地域の助け合いが必要なのか」

＜講師＞片桐美登 氏（上伊那圏域障害者総合支援センター 所長）

⑥イベント機材の貸出し

地区、地域社協が行う地域福祉活動やボランティアの拡大と継続を支援するために、社協が所有するイベント用の機材を無料で貸し出しました。

＜貸出し用機材＞

かき氷機 1 台、ポップコーン製造機 1 台、綿あめ機 1 台、発電機 2 台、テント 6 張、室内バレーボール 1 台、ボーリング 2 台、魚釣りゲーム 2 台、ストラックアウト 1 台、ジェンガ 1 台、平台、プロジェクター等

＜貸出し実績 102 件＞（平成 26 年度 64 件）

（内訳：地区・地域社協件、ボランティア団体件、その他件）

(2) ボランティア・地域活動応援センター事業

ボランティア登録者の増加を目指し取組んだところ、年度末の登録者は 34,125 人となりました。ボランティアサロンなど、気軽に活動できる場所の提供や、学生ボランティアへの働きかけ、シニア大学との連携等の働きかけを行いました。伊那市連合及び伊那地区衛生自治会の登録があったため、10 倍近くの大増となりました。

①ボランティア育成支援

- ・ボランティア登録数

ボランティアグループ・・・122 グループ（33,924 人）

（H26 年度 105 グループ：3,404 人）

個人ボランティア・・・・・・201 人（うち学生ボランティア 29 人）

（H26 年度：199 人）

②ボランティア派遣、需要調整

・派遣状況

内 訳	H25 年度		H26 年度		H27 年度	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
技術ボランティア (点訳・手話・朗読・技術指導)	18	22	19	26	16	20
傾聴ボランティア	36	36	48	48	52	52
行事等の手伝い (訓練・行事の応援等)	15	254	8	293	8	306
施設支援 (入所者への支援)	106	382	82	304	64	365
ボランティアサロン	55	412	53	385	51	310
合 計	230	1,106	210	1,056	191	1,053

③ボランティア養成・研修事業

ア、奉仕員養成講座

- ・手話奉仕員養成講座 (全 48 回) 受講者 12 人 修了者 12 人
- ・点訳奉仕員養成講座 (全 20 回) 受講者 3 人 修了者 3 人
- ・要約筆記体験講座 (全 6 回) 受講者 13 人
- ・音訳奉仕員養成講座 (全 1 回) 受講者 17 人 修了者 17 人

イ、ボランティア講座、サロン等の開催

- ・ボランティアサロン (毎週火曜) 51 回 参加延べ人数 310 人
- ・ふれあい交流バス (10/24) 参加者 55 人
- ・たかとお愛の会総会 (3/18) 参加者 35 人

ウ、福祉体験学習の指導、助言

- ・小学校 10 校 (のべ 36 回開催)、中学校 1 校 (のべ 8 回開催)
- ・福祉教育副読本の学校への配布 10 校 1,080 冊
- ・中学生職場実習受入れ 1 校 (2 人)
- ・夏休み学生向け福祉講座 (7/30～8/7) 参加者 24 人 (延べ 32 人)

④ボランティア実践校指定事業

- ・小学校：15 校、中学校：6 校、養護学校：1 校 (全 22 校)

⑤ボランティア研究集会の開催

- ・伊那市ボランティア研究集会 (12/5)
「まちの縁側サミット～まちの縁側ってどんな場所？～」130 人参加
- ・上伊那ブロックボランティア研究集会 (1/31)
伊那市より 50 人参加

⑥災害ボランティアセンター関係

- ・災害ボランティアコーディネーター養成研修（8/29） 参加者 22 人
- ・伊那市災害ボランティアセンター立ち上げに関する検討会 4 回開催

(3)広報啓発事業

市民の皆さんに福祉や社協に対する関心を高め、理解を深めていただくため、平成 26 年度から 28 年度まで 3 年間の「広報・啓発活動 事業計画書」を作成し、各種媒体を活用して効果的な広報事業に取り組みました。

また、各部署からふくし広報委員を選出して委員会を開催するなど、組織的な広報活動強化に努めました。

①社協報「ふくし伊那」の発行 毎月、全戸配布・ 21,810 部

②伊那 CATV 番組「きらきら☆ふくし」の放送

伊那ケーブルテレビにて、5 分の番組を作成し放映しました。年に 22 回更新、週 12 回放送しました。

③毎月 8 日は「福祉の日」の啓発

- ・有線放送 毎月第 1 火曜日 朝・夕放送

④ふれあい広場の開催

- ・9/13（日）伊那市福祉まちづくりセンター 約 900 人参加

様々な人と人との豊かなふれあいを通して、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合う「共に生きる福祉のまちづくり」を目指すことを目的として開催しました。

障害当事者の方のユニバーサルファッションショーなどの企画や、ふれあいバザー、ステージ発表等、様々なふれあいの場が生まれました。

⑤伊那市社会福祉協議会ウェブサイトの運営

昨年度から来訪者数の増加を目標に、facebook、twitter、line といった SNS 連動型のサイト運営を行いました（年間記事投稿 341 件）。その結果、ウェブサイトよりも SNS への来訪者（アクセス数）が増加しています。

（年間/件）

	web サイト	facebook	twitter	line	合計
来訪者	10,245	12,270	48,783	14,847	86,145

（平成 26 年度 web サイトのみ月平均 768 人）

3 住民の悩みに対して

(1)ふれあい相談センター事業

市民のよろず相談に応じるために「心配ごと相談」の窓口を開設し、相談員が親身に市民からの相談に応じました。また、弁護士や司法書士と連携しながら専門的な相談にも対応しました。

- ・心配ごと相談実施報告（開設日 148 日）

開設日時：毎週 火・木・金 午前 9 時～午後 5 時

- ・司法書士法律相談（司法書士会伊那支部伊那分会に委託）

毎月 第 1・3 金曜日 午前 9 時～正午

- ・高齢者・障害者の財産管理相談（リーガルサポート長野伊那支部に委託）

、毎月 第 2 金曜日 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

- ・弁護士無料法律相談：必要に応じて随時（市内 9 弁護士事務所に委託）

- ・相談件数 311 件

分 類		件数（延べ）		
		H25	H26	H27
生活	生計問題	8	7	5
	負債・消費者問題	32	54	54
	職業・生業問題	5	5	2
	住宅問題	3	6	4
家族	家族問題	29	45	40
	結婚問題	2	2	0
	離婚問題	45	48	41
健康	健康・衛生・医療	0	1	4
	精神衛生	7	2	4
法律	人権・法律問題	74	67	44
	財産問題	92	103	64
	事故問題	16	19	24

分 類		件数（延べ）		
		H25	H26	H27
教育福祉	児童福祉	0	0	1
	教育・青少年問題	0	1	3
	障害者福祉	0	0	2
	ひとり親福祉	0	0	0
	老人福祉	1	1	1
その他	苦情問題	2	3	1
	隣人等との人間関係	3	0	2
	その他	23	18	15
合 計		342	382	311

上記のうち 弁護士へ紹介したもの 16 件

司法書士に紹介したもの 68 件

関係機関へ紹介したもの 40 件

(2)日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

上伊那の「基幹的社協」として、判断能力の不十分な方の福祉サービス利用助成や金銭管理等のサポートを行いました。

平成 27 年度は新規契約者が 12 件あり、利用援助回数も増加しました。近年は精神障害者の利用増加により、さらなる件数の伸びが見込まれます。

		認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他	合計
H27年度	実利用者数	6	22	31	0	59
	利用援助回数	202	867	1,320	0	2,389
H26年度	実利用者数	10	20	32	0	62
	利用援助回数	156	651	730	0	1,537
H25年度	実利用者数	11	23	30	1	65
	利用援助回数	113	693	518	2	1,326

(3)くらしの安心サービス事業(市社協事業)

身体的に外出困難な方を対象に、その方に代わって金銭の出し入れや公共料金の支払い等を代行しました。

- ・利用契約者数：5人、（平成26年度：7人）
- ・実利用者数：5人、利用援助回数：44回

(4)長野県生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

- ・新規相談受付件数

年度	相談件数（件）	利用件数（件）	貸付総額（円）
平成27年度	132	8	4,973,000
平成26年度	52	14	2,814,000
平成25年度	51	17	5,991,000

(5)世帯更生資金等貸付事業(市社協事業)

最小限生活に必要な資金（限度額10万円）を対象となる世帯に貸付けました。

- ・新規相談受付件数：2件、貸付件数：2件、貸付金額：160,000円
（H26年度：新規相談3件、貸付件数3件、貸付金額130,000円）
- ・貸付残額（H28年3月末現在）：641,500円（10件）

(6)応急援護事業(共同募金配分事業)

①交通事故・災害・疾病・その他事故等により父または母を失った遺児等に、見舞金を支給しました。

- ・遺児等見舞金：3件（60,000円）

(7)上伊那成年後見センター事業

①成年後見制度や権利擁護にかかわる研修・啓発

ア、成年後見制度推進セミナーの開催（市民向けセミナーの開催） 180人参加

- ・平成27年11月19日（木） 長野県伊那文化会館 小ホール
- 〈講談〉成年後見講談（3話） 講談師／神田 織音 氏
- 〈解説〉講談に対する解説 所長／矢澤 秀樹

イ、県内、郡内の研修会への講師派遣

県内の様々な団体から講演や研修依頼があり、9 件の研修会に職員が講師として出席しました。

②成年後見センター利用件数

平成 26 年度に比べ、利用件数が 40%増加しました。特に、法人後見人としての受任件数が伸びたため、法人後見人業務が増加しています。

年度	利用 件数	成年後見制度 利用対象者	対象者内訳			
			認知症	知的障害	精神障害	その他
H27	2,319	2,278	1,031	496	748	3
H26	1,654	1,577	730	364	476	7
H25	1,389	1,337	797	274	262	4

総利用件数 2,319 件内訳

- 1) 成年後見・権利擁護相談業務 188 件
- 2) 法人後見人業務 2,131 件

③市民後見人（法人後見生活支援員）講座の開催

認知症高齢者・障害者の地域生活支援について理解と熱意のある郡内住民の方を対象に、成年後見人等の活動に必要な基礎知識を習得し、将来的に権利擁護・地域福祉の担い手として活動できる市民後見人を養成することを目的として開催しました。

年度	受講者	修了者	法人後見生活支援員就任
H27	11	10	4
H26	10	8	2

- ・開催日程 平成 27 年 11 月 5 日（木）～12 月 10 日（木）
毎週木曜日・全 6 回 9:00～16:15

④法人後見の受任

- ・法人後見受任ケース 53 件（平成 26 年度末 43 件）

(8)社会的孤立者居場所支援事業(ぷりむら)

障害の有無や年齢等で対象者を限定しない、誰でもが集う事ができる「居場所」をつくり、地縁、血縁、職縁等の希薄化により地域社会から孤立する人に対して、自分らしい生きがいや出番を見つけることにより、社会参加を促すことを目的として開設しました。口コミで利用者が増加し、一日平均 12 名の利用がありました。

今年度より始まった、生活困窮者自立支援センターまいさば伊那市とも連携を取ながら、絆の再生に取り組みました。

- ・開催日 月、火、木、金（祝日・休館日等を除く）午前 9:00～17:00

・利用内訳

年度	開所日	利用者数		内訳									
				住所			性別		年齢				
		延べ数	うち新規	市内	市外	不明	男性	女性	20歳以下	20～39	40～65	65歳以上	不明
H27	190	2,307	87	2,206	100	1	1,345	962	149	423	872	864	2
H26	184	1,718	135	1,621	97	0	1,160	558	15	439	633	618	13

(9)生活困窮者自立支援事業(まいさぼ伊那市)

伊那市から生活困窮者自立支援事業を受託し生活保護に至る前の低所得者や、複合化した課題を抱える生活困窮者の生活や就労の相談及び、生活再建のための伴走的支援を行いました(H26年度はモデル事業)。

民生児童委員に協力をお願いして、引きこもりや生活困窮者のアンケートによる実態把握に取り組みました。また、生活福祉資金貸付事業やふれあい相談センターと連携をとりながら一体的な運営を行ったところ、相談件数が1.9倍に増加しました。

年度	相談数				年代					
	相談延べ数	相談実数	新規	継続	20代	30代	40代	50代	60代	不明
H27	792	390	238	152	31	42	53	65	16	183
H26	409	202	129	73	44	38	70	123	62	72

・主な相談内容について(延べ対応件数)

- ・求職、就職について 147件(H26年度120件)
- ・収入、生活費について 96件(H26年度59件)
- ・病気や健康、障害について 121件(H26年度57件)
- ・引きこもり、不登校について 73件(H26年度0件)

4 住民の皆さんの様々な福祉ニーズに応えるために

(1)高齢者福祉事業

①脳いきいき教室事業(市受託事業)

高齢者の生きがい対策と転倒骨折予防・筋力低下予防・閉じこもり予防・認知症予防等を目的に、概ね65歳以上の方に対して、市内の老人憩いの家や公民館を会場として、個別サービス計画に基づいて、介護予防体操等の指導や継続的な活動の支援等を行いました。延べ参加者数は前年度から微減し、実参加者数も1,521人と目標(1,650人)には達しませんでした。

地 区	H25年度		H26年度		H27年度	
	開催回数	延参加者数	開催回数	延参加者数	開催回数	延参加者数
伊 那	2,330	23,783	2,510	25,666	2,571	25,270
高遠町	403	2,470	391	2,438	401	2,369
長 谷	103	501	91	454	94	483
合 計	2,836	26,754	2,992	28,558	3,066	28,122

②高齢者住宅生活支援事業（市受託事業）

高齢者生活福祉センターくつろぎの家（居住部門）に生活援助員を常駐させ、居住者の生活相談や健康相談、必要時の家事援助の支援を行いました。また、長谷高齢者専用住宅の管理を行いました。（入居者数：3.31 現在）

区 分	戸数	H25 年度	H26 年度	H27 年度
くつろぎの家（居住部門）	11	8	10	8
長谷高齢者専用住宅	8	9	8	8

③市単ホームヘルプサービス事業（市受託事業）

介護保険の対象外等の方で、介護等を受けることができない高齢者宅を訪問し、家事援助等を行いました。

区 分		H25 年度	H26 年度	H27 年度
訪問介護センター伊那	利用実人数	8	6	7
	延訪問回数	242	277	414
訪問介護センター高遠	利用実人数	0	0	0
	延訪問回数	0	0	0

④市単短期入所事業（市受託事業）

冠婚葬祭等、急に家庭においての介護が困難になった方を対象に短期による一時保護事業は、利用がありませんでした。

施 設	区 分	H25 年度	H26 年度	H27 年度
やすらぎの家 （定員 1 名）	開設日数	7	3	0
	延利用人数	7	3	0
	1 日平均利用者数	1	1	0

(2)障害者福祉事業

① 地域活動支援センター事業（市受託事業）

在宅の障害者が通所して、創作活動・文化活動・機能訓練を行いました。延べ参加者数は前年度対比で 6.6%減少し、1 日当たり平均参加者数は 16.5 人でした。

教 室 名	H25 年度		H26 年度		H27 年度	
	回数	延利用者数	回数	延利用者数	回数	延利用者数
絵手紙	12	58	12	60	11	37
手づくり	10	20	10	28	11	26
料 理	45	202	42	193	44	205
生き生き	25	91	24	99	25	98
俳 句	12	36	12	43	11	56
囲 碁	47	186	46	159	46	166
ステップジャンプ	35	81	35	91	26	41
カラコ織り	23	133	23	152	23	143
卓 球	44	276	41	278	43	313
文化刺繍	24	58	21	59	19	55
生活訓練	47	203	47	252	47	212
パソコン	36	251	36	225	36	261
コーラス	45	758	47	746	47	575
民 謡	21	104	22	105	23	110
お茶会	10	58	10	53	11	75
しあわせの会	10	211	11	259	11	244
合 計	446	2,726	439	2,802	434	2,617

②身体障害者訪問入浴サービス事業（市受託事業）

家庭において入浴することが困難な身体障害者に対して、移動入浴車での入浴サービスを提供しました。

区 分	H25 年度	H26 年度	H27 年度
実利用者数	2	2	4
延訪問回数	42	63	135

③福祉車両貸出事業

車椅子利用者・寝たきりの人・重度視覚障害者を対象に福祉車両を貸出し、生活圏の拡大を図りました。

	H25 年度	H26 年度	H27 年度
貸出し回数	239	131	134

④福祉マイクロバス運行事業

福祉団体、地域社協や地区社協の利用を図りました。

	H25 年度	H26 年度	H27 年度
貸出し回数	160	160	168

(3)その他

①ママヘルプサービス事業（市受託事業）

家事や育児の支援を必要とする産褥期の母親のいる世帯にヘルパーを派遣しました。

区 分	H25 年度	H26 年度	H27 年度
実利用者数	7	8	10
延訪問時間数	101	155	315

②ひとり親家庭等福祉事業

交通災害遺児見舞金及び就職激励金支給 見舞金支給：0 件 激励金支給：0 件

5 介護保険サービス事業

(1)居宅介護支援事業

介護サービスを総合的かつ効果的に利用するためのケアプランを作成しました。特定事業所加算算定を実現し、地域のあらゆる社会的資源とタイアップしながら適切で質の高いサービスが提供されるように努めました。

居宅介護支援ケアプラン作成件数は微増し、伊那市から受託する軽度者への介護予防支援ケアプランの作成件数は微減しました。

区 分	H25 年度	H26 年度	H27 年度
居宅介護支援ケアプラン作成件数	4,439	4,285	4,323
介護予防支援ケアプラン作成件数	650	788	770
ケアマネ一人あたり件数／月	32.6	33.9	35.4

(2)訪問介護事業

介護保険サービスとして、ホームヘルパーが利用者のお宅を訪問し、要介護等高齢者に対して身体介護や家事援助を行いました。

訪問介護センター伊那では、介護度が高く身体介護が中心の利用者の多くが入院、または長期入所となる状況が顕著で、延べ訪問回数は前年度対比で 24% の大幅な減少となりました。

一方、訪問介護センター高遠でも、伊那と同様の影響を受け、延べ訪問回数は前年度対比で 15% と大きな減少となりました。（利用実人数：3.31 現在）

区 分		H25 年度	H26 年度	H27 年度
訪問介護センター伊那	利用実人数	116	92	96
	延訪問回数	19,084	16,711	12,755
	1 日平均訪問回数	52.3	45.8	34.8
訪問介護センター高遠	利用実人数	44	47	42
	延訪問回数	7,813	9,472	8,133
	1 日平均訪問回数	21.4	25.9	22.2

(3)訪問入浴事業

利用者のお宅を入浴車で訪問し、入浴サービスを実施しました。介護度が高い利用者が中心であること等の理由により、年々利用実績は減少傾向です。

(利用実人数：3.31 現在)

区 分	H25 年度	H26 年度	H27 年度
実施日数	255	256	257
利用実人数	26	24	25
延訪問回数	1,502	1,402	1,385
1 日平均訪問回数	5.9	5.5	5.4

(4)通所介護事業

介護保険サービスとして、身体上の疾病等または認知症のため、要支援・要介護状態にある高齢者を対象に、市内4ヵ所のデイサービスセンターにて日帰りによるサービス提供を実施しました。

市内において民間事業者による通所系、長期入所系事業所の新設等が進む中で、本会の各デイサービスセンターは利用者の確保に努めました。

くつろぎの家においては、認知症対応型通所介護事業を休止するとともに全体の定員を27名から20名へ変更し、事業体制や職員体制等の見直しを図りました。

他のデイサービスセンターでは、提供するサービス内容を見直しながら、利用実績は前年度から微減程度にとどめる結果となりました。

施 設	区 分	H25 年度	H26 年度	H27 年度
みその園 (定員 30 名)	開設日数	255	257	257
	延利用人数	5,473	5,504	5,223
	1 日平均利用者数	21.5	21.4	20.3
春富 ふくじゅ園 (定員 30 名)	開設日数	256	257	257
	延利用人数	6,237	6,175	5,911
	1 日平均利用者数	24.4	24.0	23.0
くつろぎの家 (定員 20 名)	開設日数	307	308	308
	延利用人数	5,174	4,653	4,603
	1 日平均利用者数	17.7	15.7	14.9
やすらぎ (定員 20 名)	開設日数	255	257	257
	延利用人数	3,347	3,557	3,505
	1 日平均利用者数	13.1	13.8	13.7
計	延利用人数	20,231	19,889	19,242

(5)短期入所生活介護(基準該当)

家庭において介護が困難になった要支援・要介護状態にある方を対象に短期による宿泊を実施し、介護者の負担の軽減を行いました。

市内では長期入所系事業所が多く新設等されたことにより利用者は大幅に減少し、今後とも利用者の確保は大変難しい状況です。

施 設	区 分	H25 年度	H26 年度	H27 年度
みその園 (定員 8 名)	開設日数	365	365	366
	延利用人数	2,602	2,341	2,078
	1 日平均利用者数	7.2	6.4	5.7
やすらぎ (定員 9 名)	開設日数	365	364	366
	延利用人数	2,656	3,038	2,548
	1 日平均利用者数	7.3	8.3	6.9

6 障害福祉サービス等事業

(1) 居宅介護等事業

障害者総合支援法の障害福祉サービスとして、ホームヘルパーが利用者のお宅を訪問し、障害者に対して家事援助や身体介護、同行援護の支援を行いました。

(利用実人数：3.31 現在)

区 分		H25 年度	H26 年度	H27 年度
訪問介護センター伊那	利用実人数	37	34	44
	延訪問回数	4,017	4,305	5,362
訪問介護センター高遠	利用実人数	9	6	6
	延訪問回数	489	525	758

・ガイドヘルプ事業

障害者総合支援法の地域生活支援事業として、視覚障害者等の外出支援を行いました。

区 分	H25 年度	H26 年度	H27 年度
登録利用者数	3	5	5
延利用回数	43	49	42
登録ヘルパー数	2	2	3

(2) 基準該当生活介護事業

障害者総合支援法の基準該当障害福祉サービスとして、デイサービスセンターにおいて、身体障害者に対する入浴や食事等の生活介護サービスを提供しました。

なお、みその園及び春富ふくじゅ園においては、利用の実績はありませんでした。

施 設	区 分	H25 年度	H26 年度	H27 年度
くつろぎの家	実利用者数	1	1	1
	延利用者数	98	98	101
やすらぎ	実利用者数	—	—	2
	延利用者数	—	—	36

(3)障害者社会就労(生活支援)センター事業

各事業所では利用者の障害が多様化する中、個々の利用者の特性に合った支援体制づくりに努めました。

延べ利用人数の伸び率は、前年度対比でみると、ゆめわーくは体調不良による欠席者等がやや多く 5.4%の減となりましたが、輪っこはうす・コスモスの家の就労継続支援 B 型は 4.0%の増、生活介護は 16.1%の大幅増、さくらの家は 1.8%の増となる結果でした。

今年度は 5 名の利用者を企業への就労やアルバイトにつなげることができました。

各事業所の就労支援事業では、中央病院や市役所等での定期的な販売会を継続し、利用者が製作した自主製品や外注商品等の販売に力を入れました。さらに施設外就労等の受入れ先の開拓や、市役所の庭清掃ほか官公需の作業、また製品開発プロジェクトチームによる新たな製品づくりに積極的に取り組み、利用者の工賃アップに努めました。

全体として、企業からの受注作業や施設外就労、外注商品販売による売上げ等は堅調に推移し、利用者の平均工賃額は上昇しましたが、自主製品の売上げは不調であり、新たに社協ホームページ上でインターネット販売を開始しましたが、売上実績がほぼない状態が続いており、販売方法の見直しや販路の開拓等をさらに行う必要があります。

今年度、伊那市から「ニホンジカ皮製品研究委託事業」を受託し、上伊那で捕獲された鹿のなめし皮を使用した試作品（地産ワインボトルバッグ、ストーブ用薪キャリアバッグ等）を 3 事業所共同で作製し、伊那市に提案しました。各製品は委託者等から高評価をいただき、循環型社会の一翼を担う取組みとして、次年度にさらに発展させる予定です。

事業所		区分	H25 年度	H26 年度	H27 年度
就労継続支援 B 型	ゆめわーく	開設日数	240	241	241
		延利用人数	7,453	7,794	7,374
		1 日平均利用者数	31.0	32.3	30.6
	輪っこはうす ・コスモスの家	開設日数	239	241	241
		延利用人数	7,063	7,618	7,924
		1 日平均利用者数	29.6	31.6	32.9
	さくらの家	開設日数	240	241	241
		延利用人数	5,808	5,912	6,020
		1 日平均利用者数	24.2	24.5	25.0
生活介護	輪っこはうす ・コスモスの家	開設日数	239	241	239
		延利用人数	2,107	2,252	2,614
		1 日平均利用者数	8.8	9.3	10.9

・工賃実績（上段：1人当たり月平均（賞与分を含む）、下段：時給単価）

事業所	H25 年度	H26 年度	H27 年度
ゆめわーく	9,027	8,326	8,797
	133	125	123
輪っこはうす ・コスモスの家	9,351	10,433	11,117
	204	222	238
さくらの家	13,696	15,118	15,227
	247	285	305

（4）障害者相談支援センター事業 ＜特定計画相談支援事業＞

福祉サービスを利用する障害者に対して、サービス等利用計画の作成を行うとともに、継続的にサービス利用に係る相談や支援を行いました。

区分	H25 年度	H26 年度	H27 年度
利用契約者数	46	134	134
計画サービス利用支援数	46	167	135
継続サービス利用支援数	8	43	50

※ H25 年 6 月から開設

7 その他

（1）共同募金関係事業

①社会福祉法人長野県共同募金会伊那市共同募金委員会

・募金目標額：12,500,000 円、募金実績額：11,920,326 円（達成率：95.36%）

（H26 年度：目標金額 12,500,000 円、募金実績額 11,945,188 円）

募金種類	募 金 額 (円)		
	H25 年度	H26 年度	H27 年度
戸別募金	10,449,856	9,928,024	9,952,471
街頭募金	121,813	129,706	131,582
法人募金	1,308,232	1,265,383	1,273,700
学校募金	113,246	96,014	67,153
職域募金	331,420	329,697	318,026
その他	19,034	196,149	177,125
繰越金 (利子)	94	215	269

②共同募金配分事業

県共同募金会へ納めた平成 26 年度の募金実績 11,945,188 円の内、県内の社会福祉施設設備事業等に充当された残額から、伊那市社協へ配分された 7,660,188 円は、平成 27 年度は以下のように配分・活用しました。

項目	H25 年度		H26 年度		H27 年度	
	配分先等	金額(円)	配分先等	金額(円)	配分先等	金額(円)
敬老の日 行事助成		2,149,600		2,157,600		
障害児・者 団体助成	団体 (6 団体・6 件)	391,840	団体 (6 団体・6 件)	391,819	団体 (6 団体・6 件)	391,655
児 童 青 少 年 団体助成	ボラ (3 グループ・3 件)	241,000	ボラ (4 グループ・4 件)	250,000	ボラ (4 グループ・4 件)	250,000
ボランティア 団体等助成	ボラ (14 グループ・14 件)	574,500	ボラ (17 グループ 17 件)	600,000	ボラ (18 グループ 18 件)	685,000
応急・災害援 護費		125,000		115,000		55,000
居 場 所 支 援 事業費						1,719,801
社協事業費	地区・地域福祉 活動助成等 ふくし伊那印刷 費	4,883,616	地区・地域福祉 活動助成等 ふくし伊那印刷 費	4,558,276	地区・地域福祉 活動助成等 ふくし伊那印刷 費	4,558,732
	合 計	8,365,556	合 計	8,072,695	合 計	7,660,188

(2) 善意銀行

○寄付金

	H25 年度	H26 年度	H27 年度
件 数	22	25	35
金 額	679,456	561,495	2,799,295

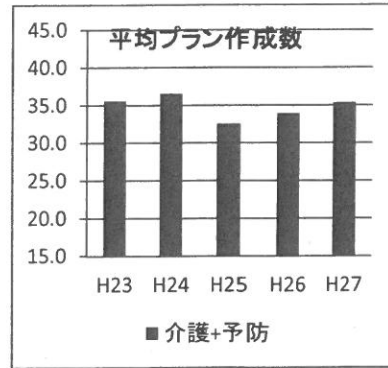
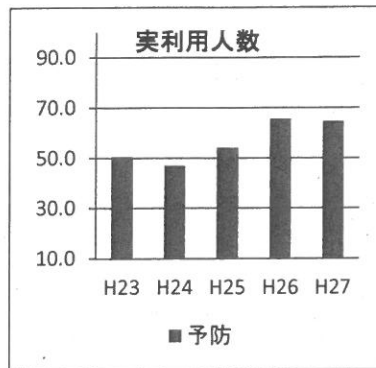
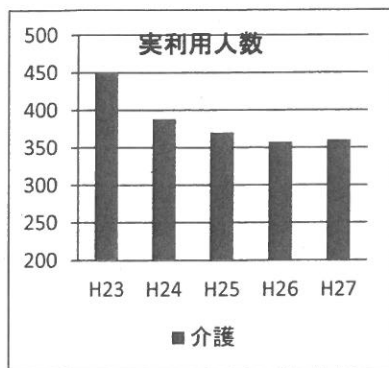
(3) 伊那市福祉まちづくりセンター「ふれあい～な」の管理事業(市受託事業)

地域活動支援センター事業を初め、各種会議や講座研修等、大勢の方々が利用しました。

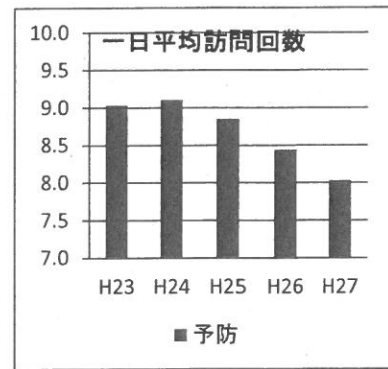
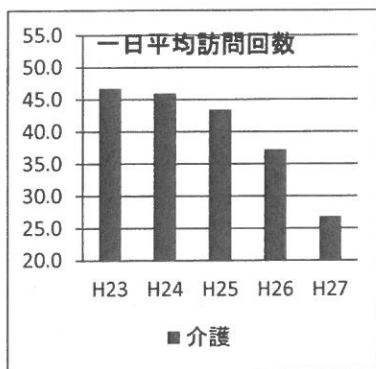
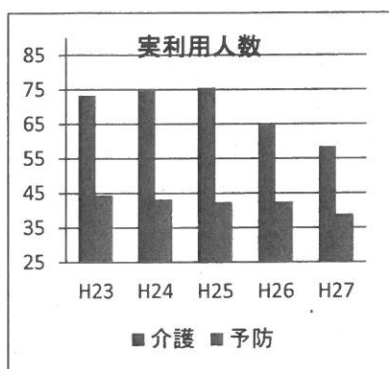
事業名	H25 年度		H26 年度		H27 年度	
	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数
地域活動支援 センター事業	470	2,742	364	2,168	366	2,033
講座・研修等	69	687	98	2,333	79	1,719
ボランティア関係	1,163	8,500	743	4,449	748	4,252
会議・集会等	799	9,035	441	6,333	663	8,722
福祉相談関係	25	94	453	1,975	422	1,799
クラブ関係	604	6,626	577	5,664	659	6,374
身障者団体	334	4,173	485	5,023	409	4,094
合 計	3,464	31,857	3,161	27,945	3,346	28,993

サービス利用実績等の推移

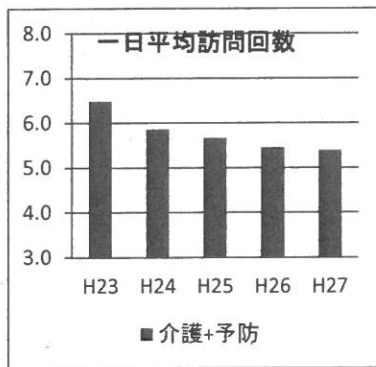
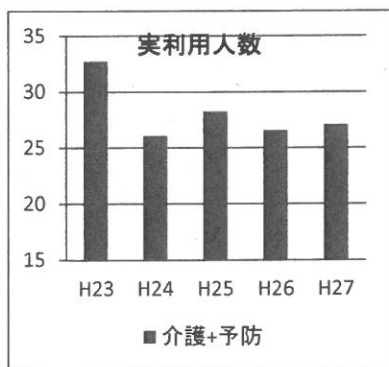
居宅介護支援センター



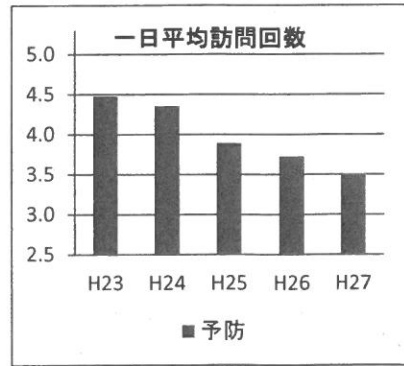
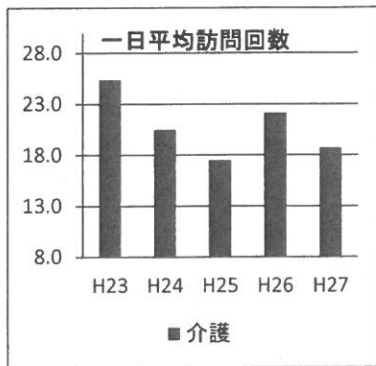
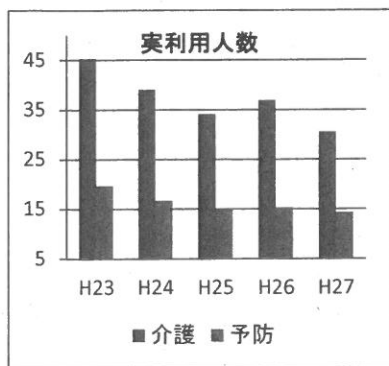
訪問介護センター伊那



訪問入浴(訪問介護センター伊那)



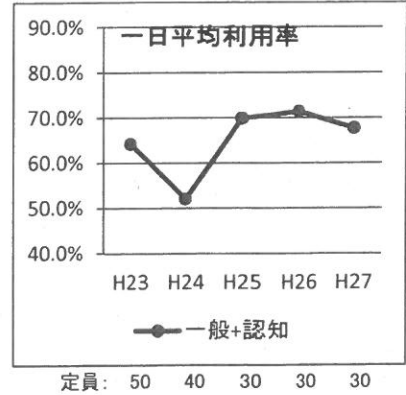
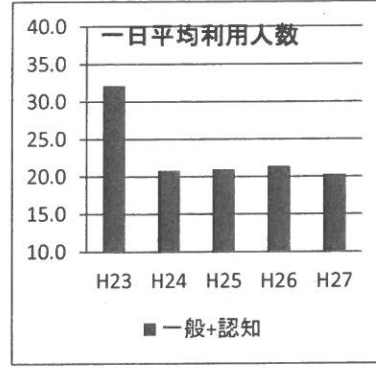
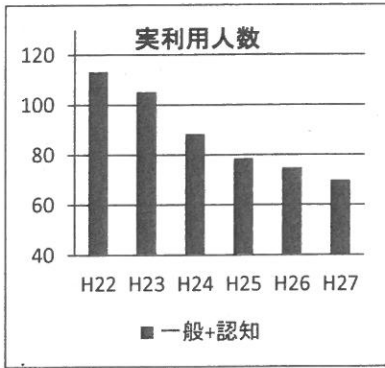
訪問介護センター高遠



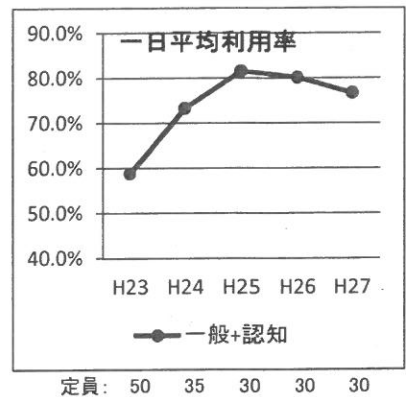
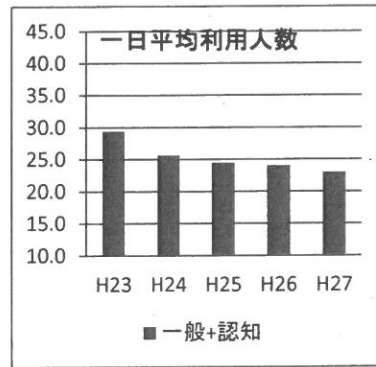
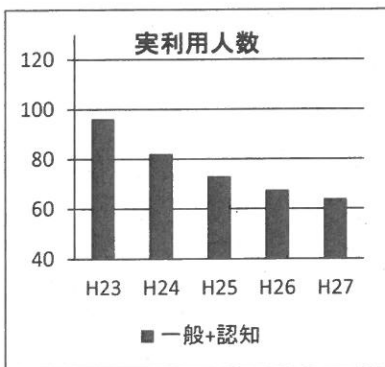
サービス利用実績等の推移

デイみその園 (H25.4月以降は一般のみ)

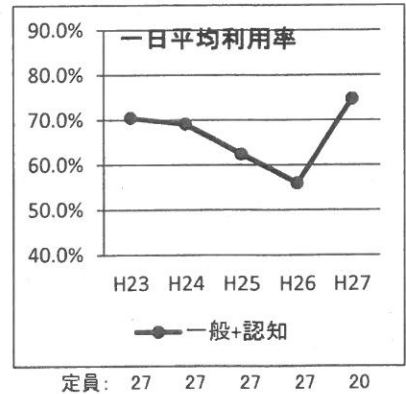
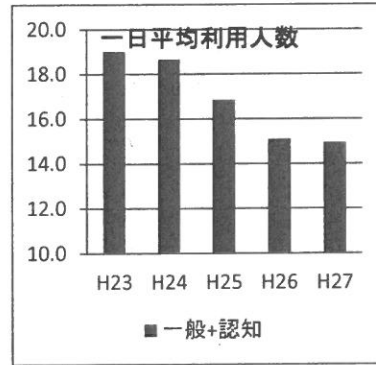
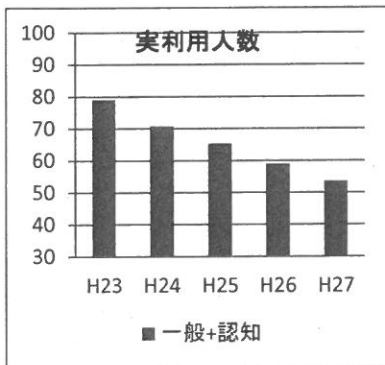
(利用率は対定員数)



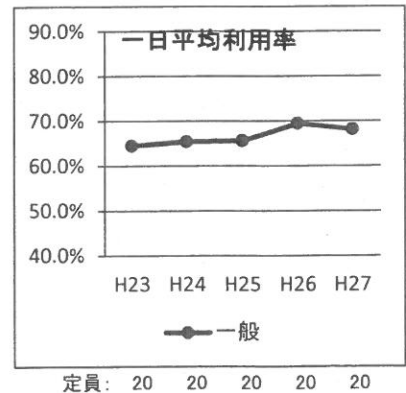
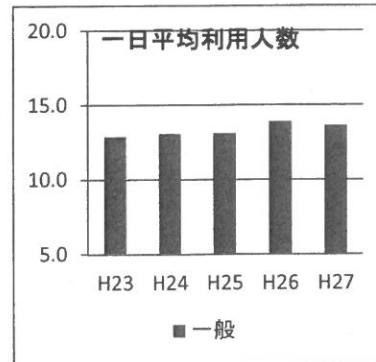
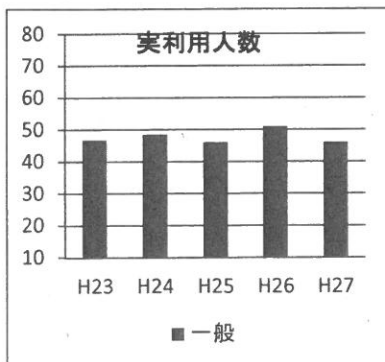
デイ春富ふくじゅ園 (H26.8月以降は一般のみ)



デイくつろぎの家 (H27.4月以降は一般のみ)



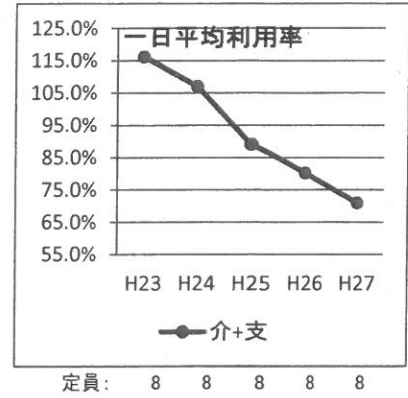
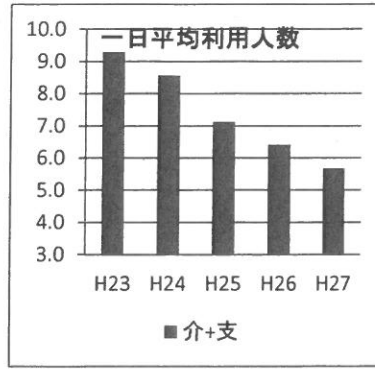
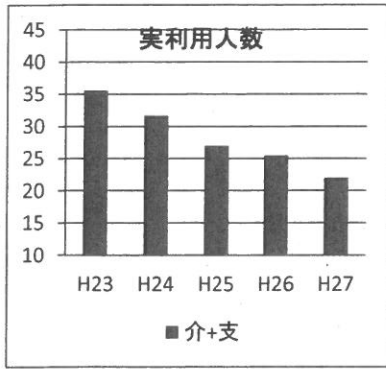
デイやすらぎ



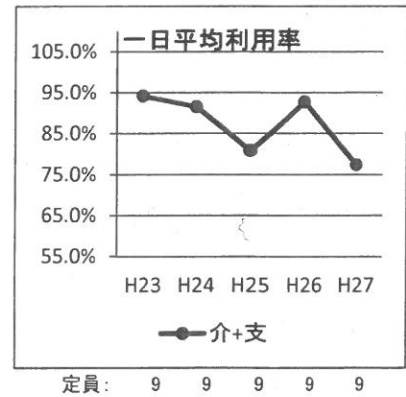
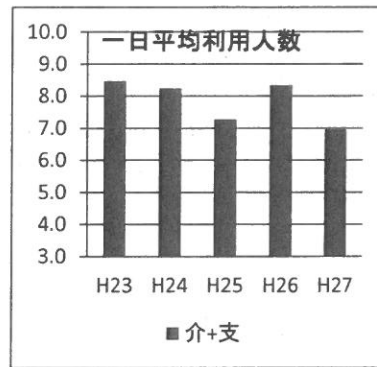
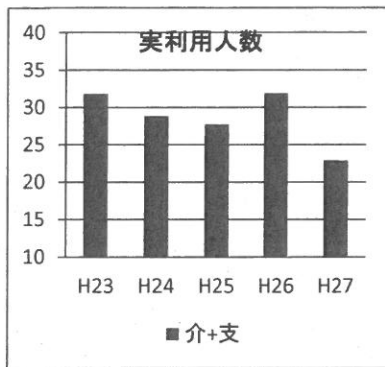
サービス利用実績等の推移

短期みその園

(利用率は対定員数)



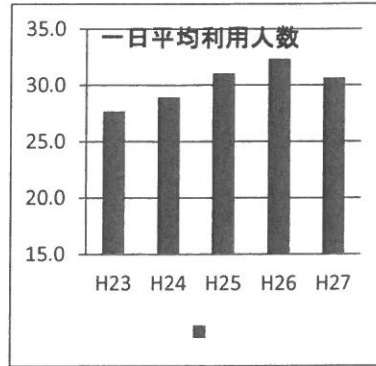
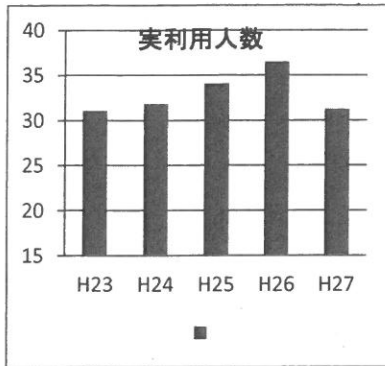
短期やすらぎの家



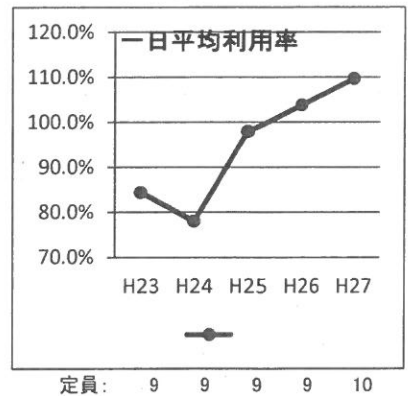
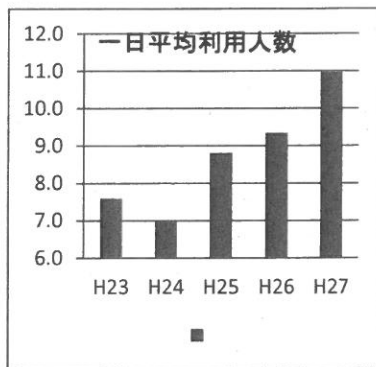
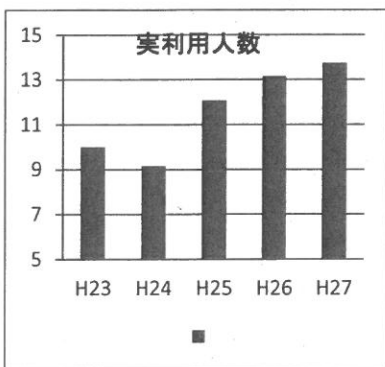
サービス利用実績等の推移

ゆめわーく(就労継続B型)

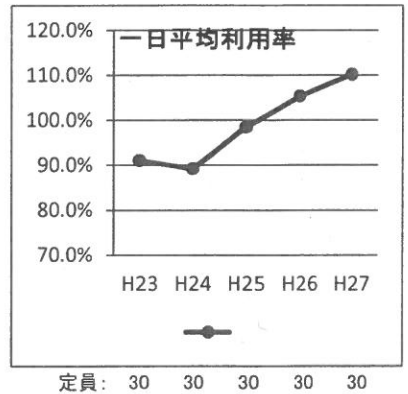
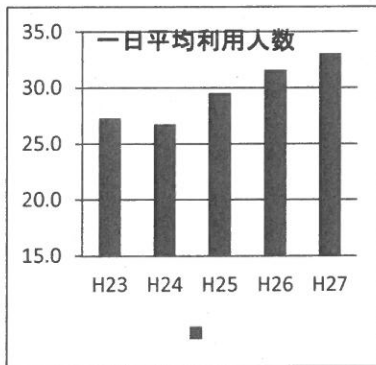
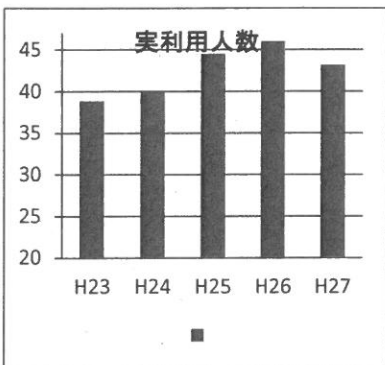
(利用率は対定員数)



輪っこはうす・コスモスの家(生活介護)



輪っこはうす・コスモスの家(就労継続B型)



さくらの家(就労継続B型)

